

下水道施設のストックマネジメント、地震対策、雨水管理、BCP

株式会社エイト日本技術開発
 インフラ保全センター

URL <http://www.ejec.ej-hds.co.jp/maintenance.html>

03-5341-5142

nagao-to@ej-hds.co.jp

はじめに

下水道ストックは、昭和 40 年代から平成 10 年代に集中的に整備され、今後急速な老朽化が予想されます。一方、人口減少により、地方公共団体の財政状況は逼迫化し、投資余力が減退の方向にあります。このため、下水道施設のライフサイクルコスト低減化や、予防保全型施設管理の導入により、良質な下水道サービスを持続的に提供することが重要となっています。また、平成 27 年度の改正下水道法では、事業計画に維持・修繕及び改築に関する内容も追加されました。

当社は、下水道施設が抱える様々な課題に対応すべく、次のようなサービスを提供しています。

提供サービス

① 下水道施設ストックマネジメント計画策定

下水道ストックは、年々劣化し、点検・調査、修繕・改築のコストの増大とともに、管路の破損等による道路陥没や汚水の流出による公共用水域の水質悪化などのリスクが存在します。

当社は、長期的な視点に立ち、今後の下水道施設全体の老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価による優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改築を立案し、施設全体の施設管理を最適化する計画策定を支援します。

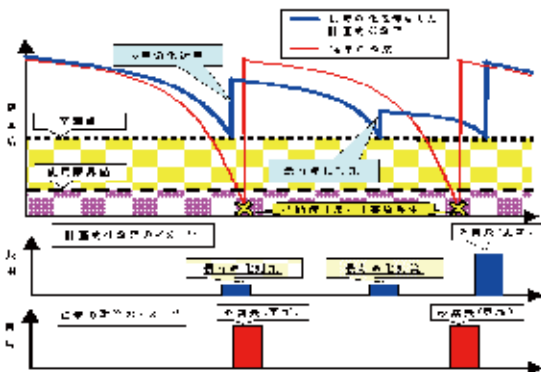


図-1 ライフサイクルコスト低減のイメージ

② 下水道総合地震対策計画策定

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により、下水道施設は未曾有の被害を受けました。下水道地震対策は、兵庫県南部地震以降基準の見直し、平成 26 年には津波対策の考え方が示されました。

当社は、「下水道総合地震対策事業」を活用し、これらの地震対策を実施するため、「防災」「減災」を組み合わせた総合的な地震対策計画の策定を支援します。

③ 雨水管理総合計画策定

浸水被害が頻発している住宅地等においては、浸水リスクに応じたきめこまやかな目標設定、浸水シミュレーション等に基づく計画の策定、既存施設を最大限活用した下水道整備計画を立案することが重要です。

当社は、「効率的雨水管理支援事業」を活用しこれら雨水管理計画の策定を支援します。

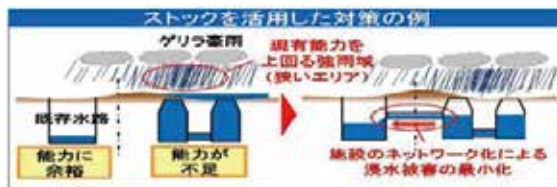


図-2 既存施設を活用した対策例

④ 下水道 BCP（業務継続計画）策定見直し

平成 29 年 3 月末時点で下水道事業を行っている地方公共団体で概ね「減災」である下水道 BCP が策定されています。今後は、下水道 BCP をより実効性のある計画としていくために、継続的な見直しや訓練などにより実践的なものにしていくことが必要となります。

当社は、「下水道総合地震対策事業」を活用し下水道 BCP 立案はもとより、適切に見直ししていくことや初動訓練を支援します。

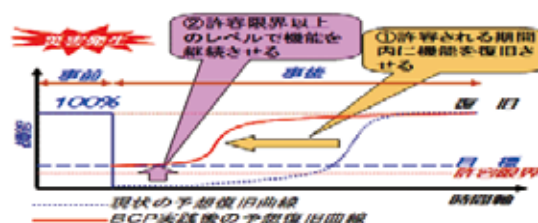


図-3 BCP：業務継続計画のイメージ